

赤酢飯－カガミダイ

赤（酒粕）酢飯と組合せが好い魚種を一つでも多く探し出そうとしている折、店頭に並ぶことが少ない部類の当魚を柵取りの形で見かけた。条件反射的に即購入。思い起こせば初めて当魚に出会ったのも同じ店であり、その時も同様条件反射的に即購入した。

早速、試作・試食とし、その結果は予想通りの「大変好い」との印象を持った。前回、



当魚を取上げた時は、白酢飯（通常の酢飯）との組合せであり、当ページのV o l . 1 1－「2015/12/11 132. カガミダイ 鏡鯛」に記載した。文面の記録はその通りであるが、残念ながら「認知レベル」の記憶は全く失ってしまった。したがって、前回との比較ではなく、純粋に初めて出会った感覚としての「大変好い」である。では、白酢飯と赤酢飯を比べてみたらとの考えもあるのだろうが、そんな野暮なことはしたくないしやらない。なぜなら「お鮓はこの1貫で成立するものではない」から。これは譲れない。

そう言えば、前回、魚体のフォルムが当魚と同じ「マトウダイ」との比較について言及したが、今度いつ出会えるかわからない「マトウダイ」。機会があれば、赤（酒粕）酢飯と組合せ試作・試食し報告したい。でも、比較はしない。なぜなら同上。